

名だたるコンクールで入賞を果たした佐藤美香 待望のコンサート

Mika Sato Piano Recital

佐藤美香 ピアノリサイタル

チャイコフスキー国際コンクール ファイナリスト (1998年)
ロン=ティボー国際コンクール 最優秀ショパン演奏賞 (1998年)
ショパン国際ピアノコンクール 第6位 (2000年)



Program

ドビュッシー	映像 第1集・第2集
<i>Debussy</i>	Images I&II
ショパン	24のプレリュード Op.28
<i>Chopin</i>	24 préludes Op.28

2022年 5/19(木) 19:00開演 (18:30開場)

会場 sala arietta 中津市沖代町1-6-60

主催 arietta ・ 中津An die Musik 全席自由 ¥3,000

申し込み・お問い合わせ／090-2501-8001(武本) チケット取り扱い／中津文化会館・シマザワ楽器



MIKASATO

佐藤美香プロフィール

大阪府交野市生まれ、4歳よりピアノを始める。

1987年、第41回全日本学生音楽コンクール西日本大会中学校の部第1位。桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学ソリスト・ディプロマ・コース入学。1994年よりフランス国立パリ高等音楽院に留学。1997年に同学院を全教授一致の1等賞、あわせてブルショロリー賞を受賞して卒業。

1998年、第11回チャイコフスキー国際コンクール(モスクワ)に出場、ファイナルに残りディプロマを受賞。同年、ロン=ティボー国際コンクール(パリ)にも出場し、モファ賞(最優秀ショパン演奏賞)を受賞した。2000年、第14回ショパン国際ピアノ・コンクール(ワルシャワ)では、日本人最高位となる第6位入賞を果たし、大きな注目を集めます。

2001年4月、第27回日本ショパン協会賞を受賞。

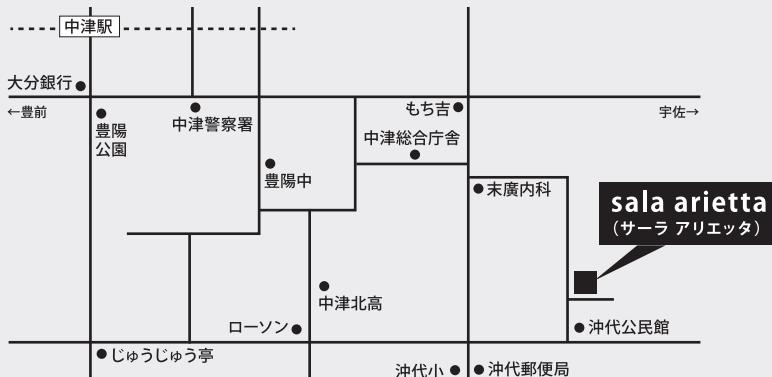
これまでにヨーロッパ、アメリカ、モロッコ、日本各地でのリサイタルや室内楽のコンサート活動を行っており、アルノルド・カツ指揮／ロシア国立交響楽団、アントニー・ヴィット指揮／ポーランド国立放送交響楽団、カジミエシュ・コルド指揮／ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団、タデウシュ・ストルガラ指揮／ウィーン・トーンキュンストラー管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、群馬交響楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団といったオーケストラと共に演奏。また、パリ、およびドゥシニキ(ポーランド)のショパン音楽祭に招かれた他、アヌシー(フランス)での出演や、ガミング(オーストリア)でのコンサート、オーヴェール音楽祭(フランス)出演のほか、サル・ガヴォー、サル・コルトー(パリ)、モスクワ音楽院大ホール、ワルシャワ国立フィルハーモニーホール、王子ホール、カザルスホール、浜離宮朝日ホール、紀尾井ホール、津田ホール、東京芸術劇場、東京文化会館、いずみホール、京都コンサートホールなどの内外の著名なホールに出演し、圧倒的なスケール感、卓越した楽曲構成力、鮮やかなテクニックで聴き手を魅了して、大きな成功を収めた。

2003年6月にはウィーンとグラフェネクにてリサイタルを行った。またリサイタルの直後にウィーンでオール・ショパンによるレコーディングを行い、2004年8月にカメラータ・トウキョウ『マイ・フェイヴァリット・ショパン』と題し発売、「しなやかなタッチと温かみのある音色」と各方面から好評を得た。2007年には2枚目となるソロ・アルバム『ヴィルトゥオージティ オブ オペラ・バラフレーズ』(カメラータ・トウキョウ)を発売した。

2010年10月にはつくば市でウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、フルート奏者のヴォルフガング・シュルツ氏と共に演奏、2012年7月には福岡市で元コンサートマスターのペーター・ヴェヒター氏と共に演奏、いずれも好評を得ました。

これまでに竹内美知子、パスカル・ドヴァイヨン、ジャック・ルヴィエ、井上直幸、御木本澄子、竹内啓子の各氏に師事。

平成音楽大学客員教授。一般社団法人御木本メソッドアカデミー理事。



開催場所

sala arietta (サーラ アリエッタ)

中津市沖代町1-6-60

sala arietta ご来場の方へお願い

住宅街につき駐車場には限りがございます。
できる限り乗り合わせてご来場頂きますよう
ご協力ををお願い致します。